

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年2月21日

公表: 令和6年3月28日

事業所名 放課後等デイサービス NEOキャリア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	利用状況により、室外含めて活動場所とし、安全に過ごせるようにしています。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	令和5年度の業務内容、業務分担について、関係機関と連携を行い、利用時間・利用内容について改善していけるように進めています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	評価表やHUG、送迎時等に支援について保護者の皆さまのご意見を伺える機会をもうけて、業務改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	療育に関わる研修や関係法令係などの研修などを行い、資質向上の機会を確保しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	心理師を配置し、客観的な分析の上、計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	社会技能能力検査やWISC検査、K-ABC検査を使用し、適応行動の状況を把握しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	日常直接支援に当たっている支援員を中心に職員全体で立案に参画しています。	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	本人支援“5領域”の中から毎週違うプログラム内容を設定しています。また、1年を4期に分けて活動を設定することで、固定化しないように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	平日のライブ配信、ディスカッション、休日はお仕事体験、地域貢献活動、長期休業中は、電車乗り継ぎ体験など課題を細やかに設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	個の活動と集団活動のバランスを、個別支援計画に合わせて適宜組み合わせを行い、対応しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	支援開始前後に打ち合わせを行い、支援内容や役割分担について確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	帰りの会后や送迎時の姿を共有することで、その日行われた支援を保護者の皆さまにお伝えできるよう努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	活動プログラムでの姿を個々の課題に応じて記録し、支援の検証及び改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	定期的にモニタリングを行い、見直しを行っています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	6	0	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	児童発達支援管理責任者及び心理師が参加することで、本人の事業所外での姿を共有しながら、実態を把握できるようにしています。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	送迎時に、学校での様子を担任の先生からお聞きすることで、課題の見直しを行ったり、通所時における心理的なケアに努めています。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	医療ケアが必要な場合は、保護者の皆さまと具体的な場面を想定した聞き取りを行い、連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	関係する事業所と連携し、情報共有、相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	移行する場合には、情報提供できるよう、準備しております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	専門機関からの助言を受け、自己研鑽に努めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	0	春日井まつりなどのイベントや、パントリー活動を通じて交流できる機会をつくっています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	支援の様子や以前の姿から変わった様子などを送迎時やHUGなどのツールを用いて伝えあい、共通理解する機会をもっています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	
保護者への説明書	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	令和5年度は1回保護者会を開催いたしました。令和6年度は、春・秋の2回開催を計画しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	保護者の皆さまからのご意見等に迅速に対応し、早急に解決できるよう努めております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	LINE投稿を通じて活動内容を紹介させていただいています。

責任等	35	個人情報に十分注意している	6	0	個人情報について十分注意して、取り扱っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	個の実態に応じたコミュニケーション方法で意思の疎通を行い、円滑な情報伝達が行えるよう工夫しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	パントリー活動への参加、地域の商店街への職場見学、お祭りボランティア等に参加して、地域に開かれた活動を行っています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	マニュアルを作成し、保護者の皆さまに周知いただけるようにしています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	年度2回の法定消防訓練の実施や、避難場所の確認などを定期的に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	毎年虐待防止の研修及び月に1度「虐待防止ならびに身体拘束適正化検討委員会」を開催しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		身体拘束について職員間で話し合い、必要と判断した場合は、保護者の皆さまにご説明させていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		保護者皆さまから具体的に指示をいただきながら、慎重に対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハット事例集を作成し、今後の支援に活用しています。	